



学校だより

笑顔あふれる学校を目指して

ホームページ

<http://www.koganei.ed.jp/~koganijs/>

卒業生号 令和5年3月17日

小金井市立小金井第一中学校

小金井市桜町2-3-15

TEL 042-383-1161

FAX 042-382-0401

3年生に贈る（学校長式辞より）

校長 山中 栄治



卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。振り返ってみると、皆さんはコロナ禍で様々な制約を受けた三年間でした。教育活動が再開されても、行事の中止や規模を縮小しての開催になるなど、予測不可能な状況の中で学校生活を送らざるを得ませんでした。楽しみにしていたことや頑張っていたことができなくなり、我々大人が計り知れないほど、本当に悔しい思いをしてきたと思います。しかし、そのような状況の中でも、工夫しながら今できることを一生懸命やっている皆さんの姿を見ると、申し訳ないのと同様にたくましさを感じました。皆さんの持てる力やエネルギーは不測の事態に減少することなく、力強く発揮されることがわかりました。コロナ禍において皆さんは逆境に耐え抜く力と工夫して何かをやり遂げる創造力を身に付けたと思います。

さて、今日は、私が好きな歌詞を紹介します。それは、ピアノの弾き語りで唄われる、アンジェラ・アキさんの「手紙」です。この歌は、アンジェラ・アキさんが、「未来への自分にあてた手紙」がもとに生まれました。アキさんのお母さんが大切に残していたその手紙を、30代になったアンジェラ・アキさんが読み返すうちに、10代の頃の気持ちがメロディーとなってあふれだし、一つの曲になったそうです。多くの人がこの曲に感動し、勇気づけられたことで、知られています。この歌詞の中に、人生の節目の一つである中学校を卒業する皆さんに、贈りたい言葉があります。『拝啓 この手紙を読んでいるあなたは どこで何をしているのだろう 十五の僕には誰にも話せない 悩みの種があるのです 今 負けそうで 泣きそうで 消えてしまいそうな僕は 誰の言葉を信じ 歩けばいいの？ ひとつしかないこの胸が 何度もばらばらに割れて 苦しい中で今を生きている』この歌詞は、「手紙」の1番で、15歳の自分から未来の自分に書いたものです。この歌詞を聴いて、15歳のみなさんが未来に向けて新しい一歩を踏み出すこのとき、共感する部分があると思います。2番は、15歳の自分に対し、未来の自分から返って来たものです。『拝啓 ありがとう 十五の貴方に伝えたい事があるのです 自分とは何で どこへ向かうべきか 問い続ければ見えてくる 今 負けないで 泣かないで 消えてしまいそうな時は 自分の声を信じ 歩けばいいの いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど 笑顔を見せて今を生きていこう』アンジェラ・アキさんは、体験から、考え込んだり、迷ったりするのは、生きている証であり、自分自身に問い続けて行くことが、未来を切り開く力となる、とメッセージを送っています。皆さんも、卒業を迎えるまでには、失敗で自信を失ったり、友達と対立したりと辛い経験があったと思います。こうした葛藤は、大人へと成長するために、学ばなければならないものでもあります。卒業とはいえ、皆さんの歩みは、まだ始まったばかりです。時間も可能性も、十分にある皆さんが、アンジェラ・アキさんが手紙を読み返した時と同じ年代になった15年後、どうなっているのでしょうか。今では、人工知能の進歩によって、定型的な仕事は、人間からAIに置き換えられ、「問題そのものの意味」や「答えのない問題」について、「自分の頭を使って考え創造する」ことが求められる時代と言われています。思う通りにいかずに、悩んだり、苦しんだりすることがあるはずですが、失敗や挫折した時に、途中で投げ出すことなく次の段階に向けて、勇気をもって自分の可能性に向かって力強く歩んでください。それが幸運に出会えるチャンスとなり、人生を豊かなものにしてくれるはずですが、最後は、『拝啓この手紙読んでいるあなたが 幸せになることを願います』で終わります。生きていれば、問題や悩みがあります。ぜひ、皆さんを支えてきた、多くの方の思いと多くの友達を大切に、問い続け考え出した自分の答えを信じて、しっかりと生きていってください。

結びになりますが、保護者の皆様には、この3年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今後とも本校へのご支援の程、お願い申し上げます。



「コロナだからこそ新たな発見があった」

この3年間、学年集会の度に言ってきた言葉です。これは、生徒へのメッセージであると同時に、我々自身への言葉でもありました。そんなコロナ生活も3年が経過しました。

1年生の阿波踊り、2年生の旅行計画。

そして、待望の修学旅行。灼熱の法隆寺、夜の能楽堂、1人鍋でのすき焼き食べ放題、漆器の加飾体験。今となっては、あっと言う間の3日間でしたが、1日の中に可能な限り詰め込んだスケジュール、とても密度が高い修学旅行を実現できました。

卒業前、最後の2週間は、これまでのストレスを解放するかのごとく、自送会、音楽ライブ等、毎日がもりだくさんのとても濃密な時間を過ごしました。

激動の3年間、2度とこんな経験はないでしょう。この3年間の思い出は忘れられません。この3年間で経験したことは、将来、どこかでつながるはず。いや、必ずつながることを信じてください。

卒業生の皆さん、3年間にありがとう。

保護者の皆様、3年間ありがとうございました。

3年学年主任 齋藤 与志朗

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学校生活でさまざまな思い出ができたと思います。コロナ禍で多くの行事が中止にもなりましたが、その中でもできる活動に取り組みました。皆さんの成長を一番感じるのは普段のI組での生活です。1年生の頃は自分のことに手いっぱいになかなか周囲のことにまで気を遣う余裕がありませんでした。それが校外学習をはじめとした様々な行事を体験したことで成長し、3年次には最上級生としてクラスをけん引する存在となりました。その姿はまさに後輩たちの良き手本でした。今後はそれぞれの進路へと進みますが、I組で培った皆さんの力を信じてさらなる飛躍を遂げてください。応援しています。

3年I組 担任 仙澤 龍祐

いよいよこの日を迎えましたね。今どんな気持ちでいるのでしょうか。

制限はまだまだ続く年ではありましたが、行事などできることが増えてきました。少しずつ本来のG組に戻っていくのと同時に、行事が多く忙しいと感じたことでしょうか。それでも行事ごとにみんなが力をつけていくのを見て、本当に嬉しく思いました。そんなみんなの一步一步の成長が、我々の力になっています。

高等部へ行くことへの不安もあると思いますが、みんなならきっと大丈夫。G組で培ってきたことを活かして、さらにたくさんのことに挑戦し、たくさん失敗して、自分なりに工夫して、少しずつ成功を積み重ねていってください。いつまでもみんなのことを応援していますよ。

ご卒業おめでとうございます。

G組担任 山下 周一

I組3学期校外学習

3月10日金曜日、I組3学期の校外学習を行いました。場所は横浜です。前日の天気予報では雨の心配もありましたが、当日は春の温かさが感じられるような晴天でした。3学期の校外学習では、班別行動がメインとなっています。今回は午前中に中華街を、午後にみなとみらい周辺を3班に分かれて散策しました。事前学習では、「3年生に楽しんでもらう」ことを目標に、2年生が中心となって1・2年生で計画を立てました。「班を引っ張っていけるのか」と不安な生徒も多かったようですが、当日は、事前学習で作成したオリジナルの地図を頼りに、的確に状況判断し、すばらしい活躍をしてくれました。3年生にとってはI組最後の校外学習となりましたが、楽しい一日にできたと思います。



一中・連絡メール登録のお知らせ

これまで、本システムの運用に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。

現3年生については、3月末をもって登録していただいたメールアドレスを削除いたします。現1年生、現2年生については次年度にデータがそのまま持ち上がりますので、4月に再登録の必要はありません。不明な点がございましたら、PTA役員まで御連絡ください。